

2023年度 第2四半期決算説明会

2023年11月27日

【証券コード 4401】



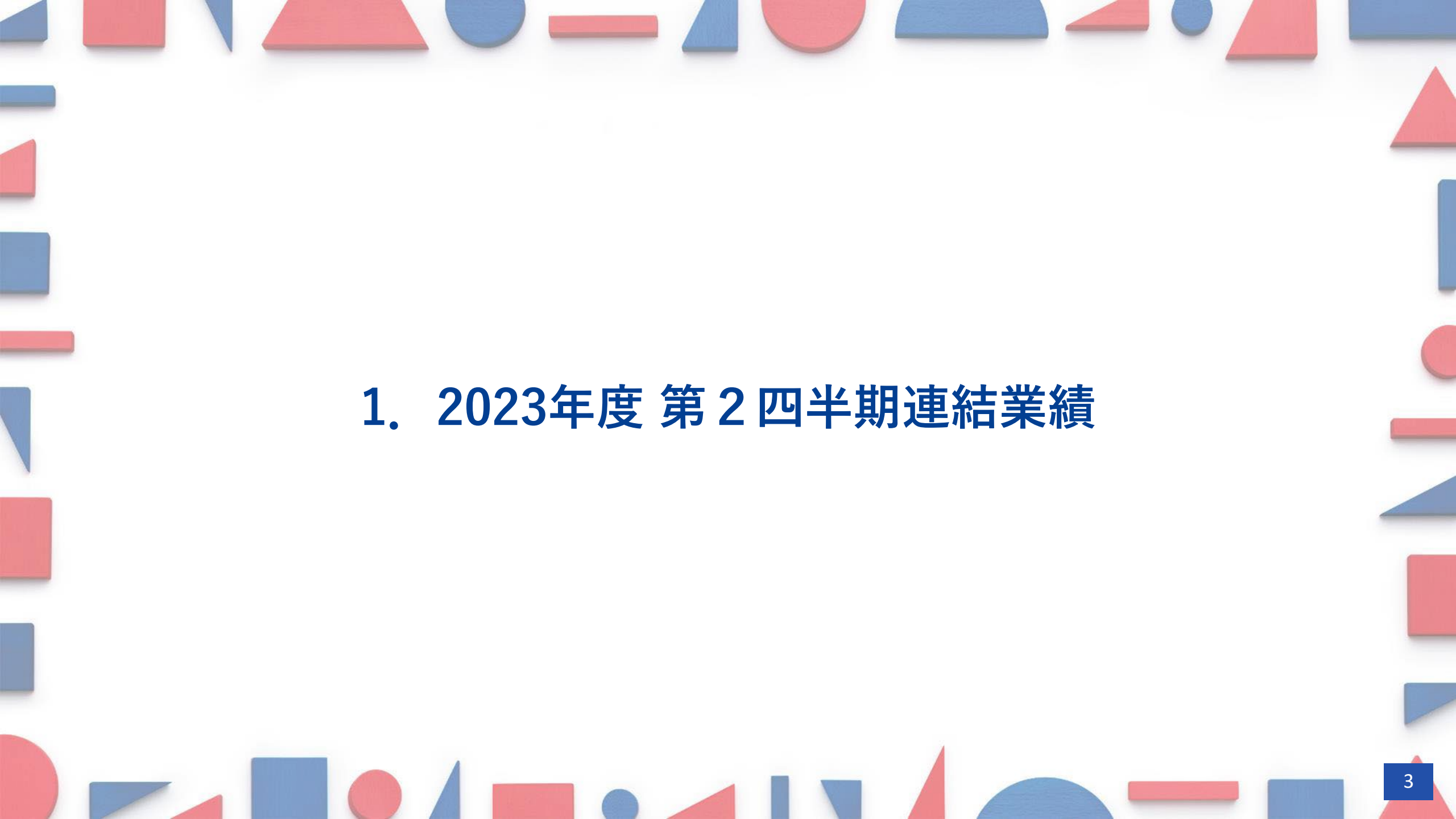
2023年度 決算説明

第2四半期

2023年4月1日～2023年9月30日

代表取締役社長兼社長執行役員 城詰 秀尊

1. 2023年度 第2四半期連結業績	… P 3
2. 2023年度 連結業績予想の修正	… P13
3. ご参考	… P23
・ 中期経営計画『ADX 2023』進捗状況 ・ 設備投資の状況 ・ トピックス 研究開発体制の再構築 ・ 海外売上高	

A decorative border composed of various geometric shapes in red and blue, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged along the top, bottom, and sides of the slide.

1. 2023年度 第 2 四半期連結業績

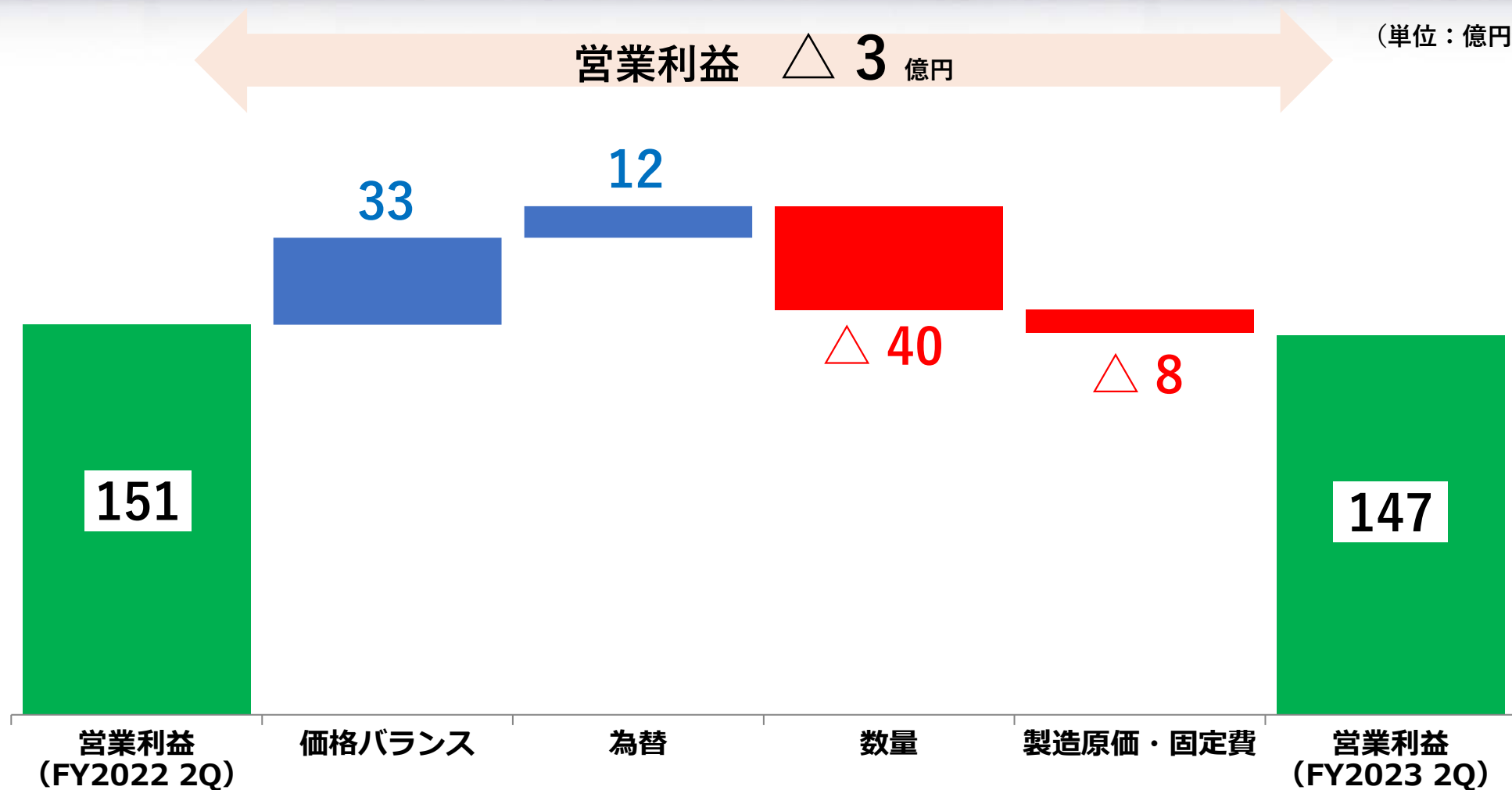
2023年度 第2四半期連結業績の概要

2023年度 第2四半期連結業績

(単位：億円)

	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減	増減率 (%)
売上高	1,964	1,876	△ 88	△ 4.5
営業利益	151	147	△ 3	△ 2.1
経常利益	164	155	△ 9	△ 5.5
四半期利益	99	105	5	5.7
1株利益	97.0円	103.2円	6.2円	

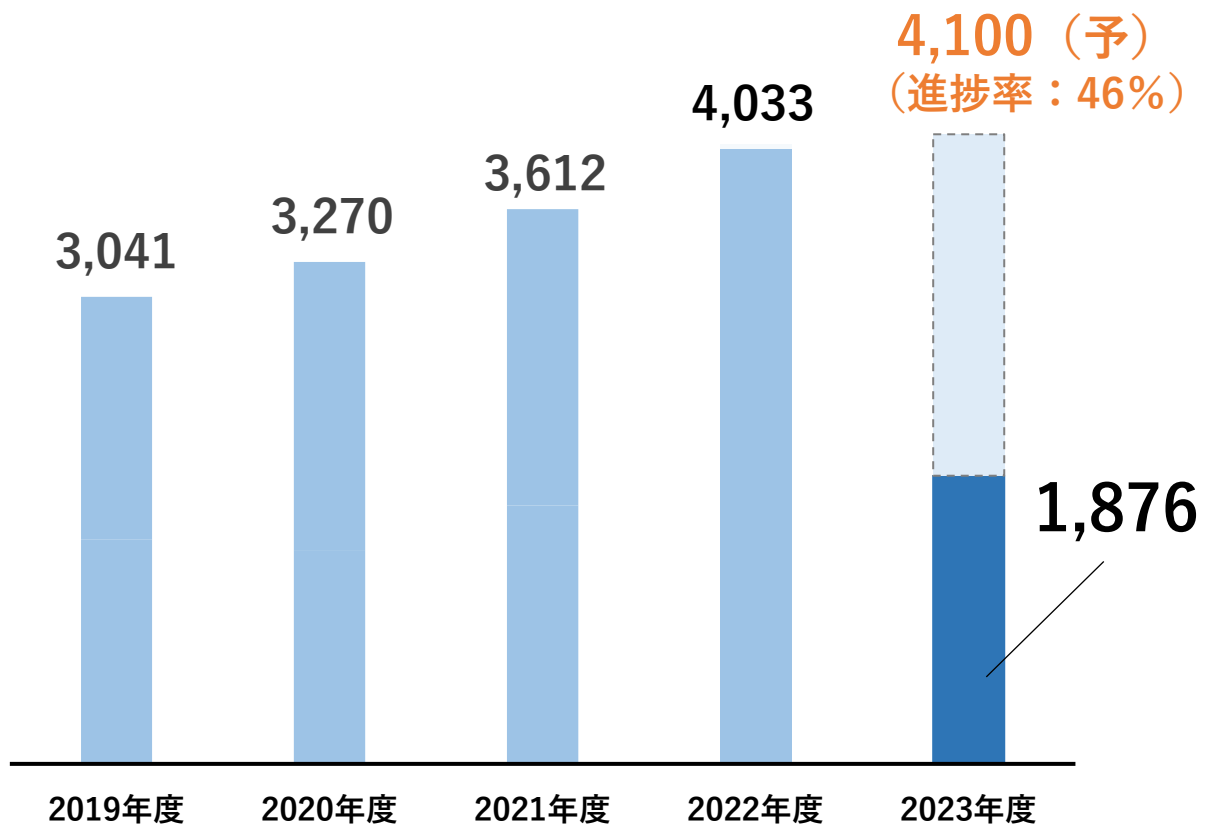
注) 金額は億円未満を切り捨て、1株利益は小数点第2位を四捨五入して表示



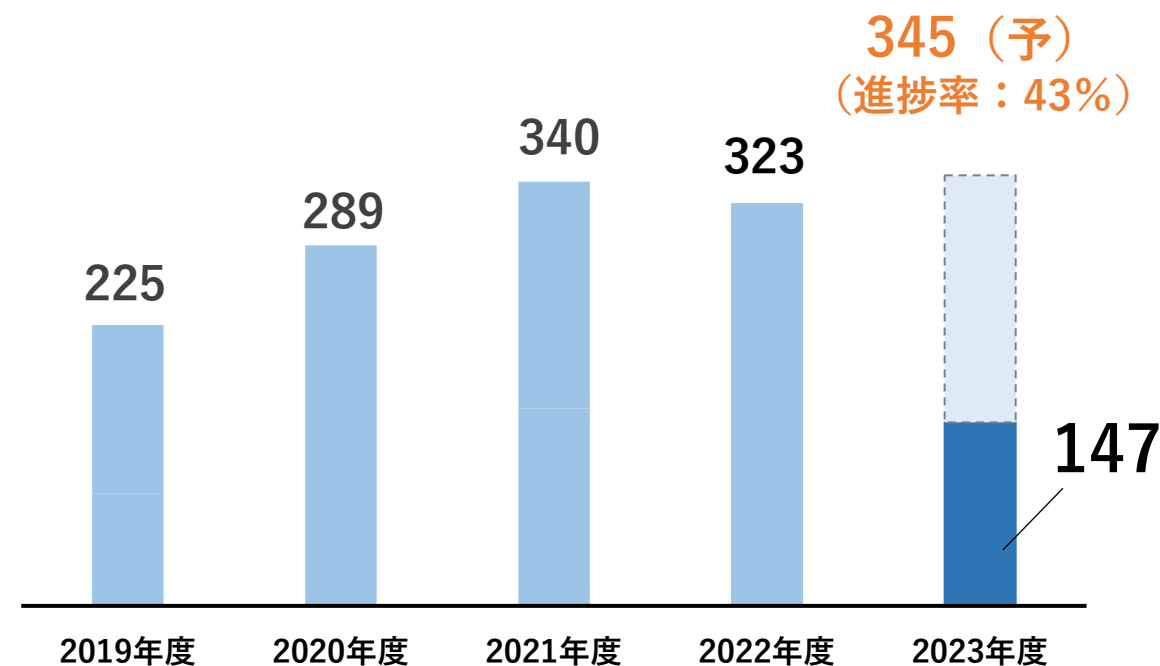
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

(単位：億円)

売上高



営業利益



注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

2023年度 第2四半期連結業績（セグメント別）

2023年度 第2四半期連結業績

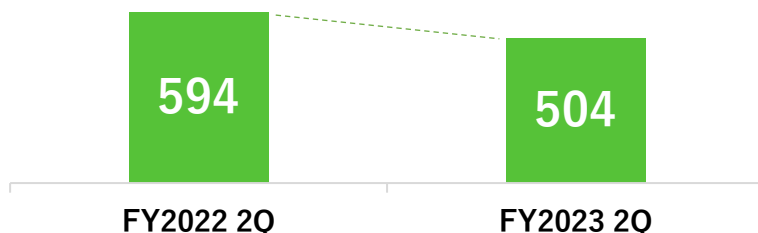
	2022年度 2Q累計	2023年度 2Q累計	増減	増減率（％）
売上高	1,964	1,876	△ 88	△ 4.5
化学品	1,098	1,015	△ 83	△ 7.6
樹脂添加剤	594	504	△ 89	△ 15.1
情報・電子化学品	179	192	12	7.0
機能化学品	325	318	△ 6	△ 1.9
食品	398	413	15	3.8
ライフサイエンス	431	406	△ 24	△ 5.8
その他	35	40	5	14.1
営業利益	151	147	△ 3	△ 2.1
化学品	139	120	△ 19	△ 13.7
樹脂添加剤	53	40	△ 13	△ 24.4
情報・電子化学品	52	52	△ 0	△ 0.5
機能化学品	33	27	△ 5	△ 17.3
食品	▲ 18	13	31	-
ライフサイエンス	25	6	△ 18	△ 72.7
その他	4	7	2	56.1

（単位：億円）

注）金額は億円未満を切り捨てて表示

◆ 売上高 (単位：億円)

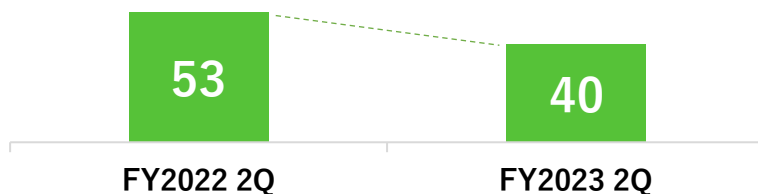
△ 15.1%



FY2023 (会計)	1Q	2Q	3Q	4Q
	246	258	—	—

◆ 営業利益 (単位：億円)

△ 24.4%



FY2023 (会計)	1Q	2Q	3Q	4Q
	17	22	—	—

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

- ・ ワンパック顆粒添加剤や酸化防止剤は、中東・欧州での需要低迷により販売苦戦
- ・ 家電の筐体等に使用されるエンプラ向け難燃剤の販売低調

◆ プラスチック製品全般

苦 戦 ワンパック顆粒添加剤、酸化防止剤

◆ 家電（筐体）

低 調 エンジニアリングプラスチック用難燃剤

◆ 建材・インフラ

低 調 塩ビ用安定剤

◆ 食品包装

低 調 透明化剤

◆ 自動車

堅 調 核剤、光安定剤、ゴム用可塑剤

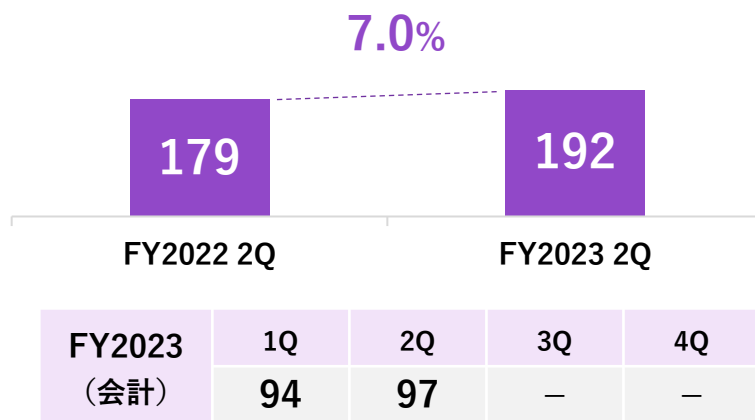
営業利益の主な要因（対前年同期）

数 量
△ 16億円

為 替
2億円

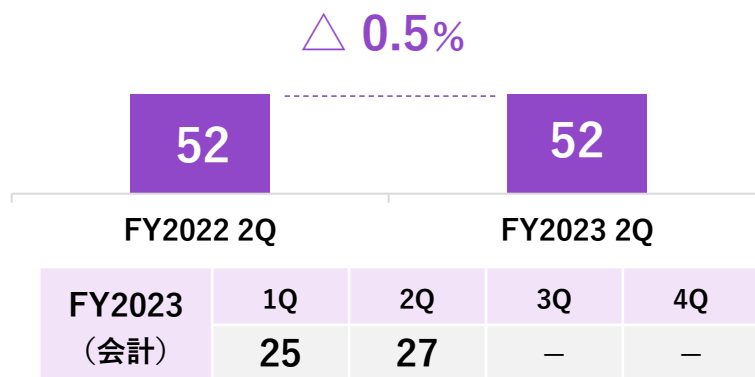
◆ 売上高

（単位：億円）



◆ 営業利益

（単位：億円）



注）金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

第2四半期末にかけて半導体メーカーの減産による影響を受けたものの、先端半導体向け製品の販売好調とディスプレイ関連材料の持ち直しにより増収

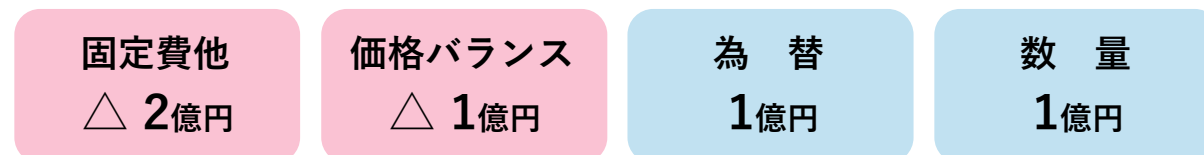
◆ 半導体

- 好調** 先端DRAM向け 高誘電材料
- 堅調** 先端リソグラフィ用途 光酸発生剤（ArF、EUV）
- 低調** コモディティ製品

◆ ディスプレイ

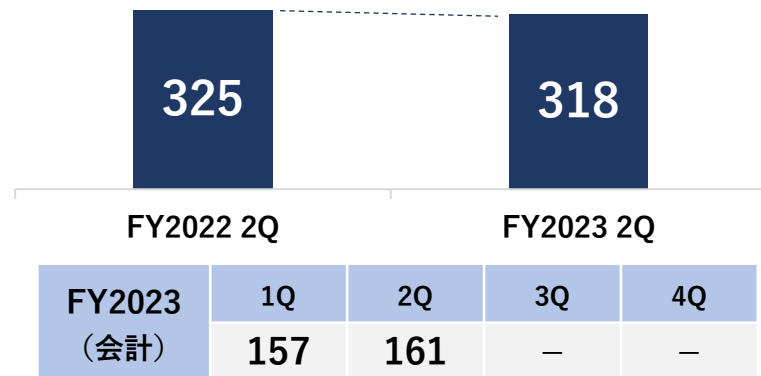
- 堅調** カラーフィルター向け 光重合開始剤
ブラックマトリクスレジスト、エッチング薬液
- 低調** 光学フィルム向け 光硬化樹脂

営業利益の主な要因（対前年同期）



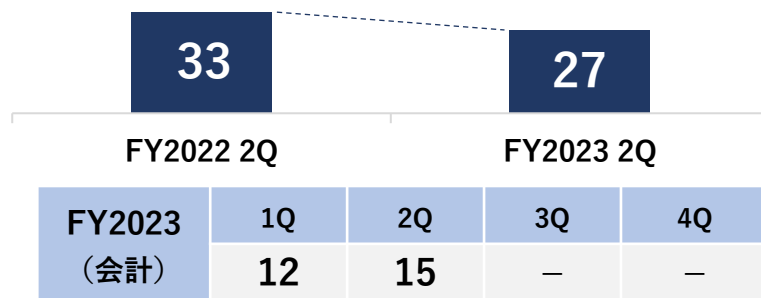
◆ 売上高 (単位：億円)

△ 1.9%



◆ 営業利益 (単位：億円)

△ 17.3%



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

- ・ 米国を中心にエンジンオイル用潤滑油添加剤の販売好調
- ・ 一般工業用のプロピレングリコール類、過酸化製品は市況低迷が続き販売低調

◆ 一般工業用

低調

プロピレングリコール類、過酸化製品

◆ 化粧品

低調

界面活性剤

◆ 家電、スマホ・PC

低調

水系樹脂、エポキシ樹脂

◆ 自動車

好調

エンジンオイル用 潤滑油添加剤

堅調

構造用接着剤向け エポキシ樹脂
車載用電子部品向け エポキシ樹脂接着剤

◆ 建築塗料

好調

反応性乳化剤

営業利益の主な要因（対前年同期）

数量

△ 12億円

固定費他

△ 1億円

価格バランス

4億円

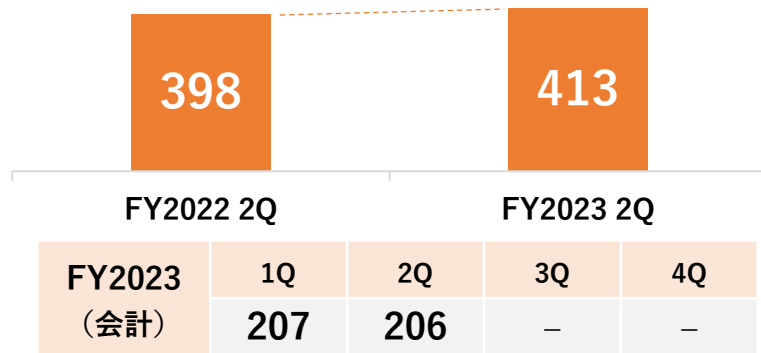
為替

4億円

◆ 売上高

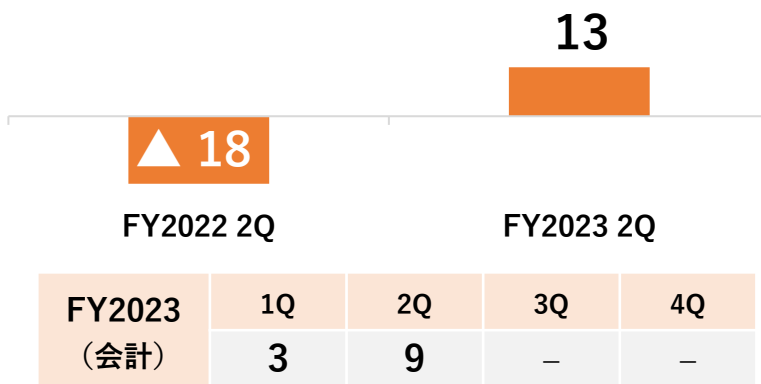
(単位：億円)

3.8%



◆ 営業利益（損失）

(単位：億円)



注）金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

- ・パン等のおいしさの持続と消費期限延長に寄与する機能性マーガリン「マーベラス」シリーズは、23年度新製品の販売堅調
- ・海外では、中国の需要が戻りつつあり、東南アジアも販売堅調

◆ 土産菓子

堅 調 マーガリン、フィリング

◆ 製パン、製菓

堅 調 機能性マーガリン「マーベラス」シリーズ

低 調 汎用油脂（マーガリン、ショートニング）

◆ プラントベースフード

採用拡大 「デリプランツ」シリーズ

営業利益の主な要因（対前年同期）

価格バランス
28億円

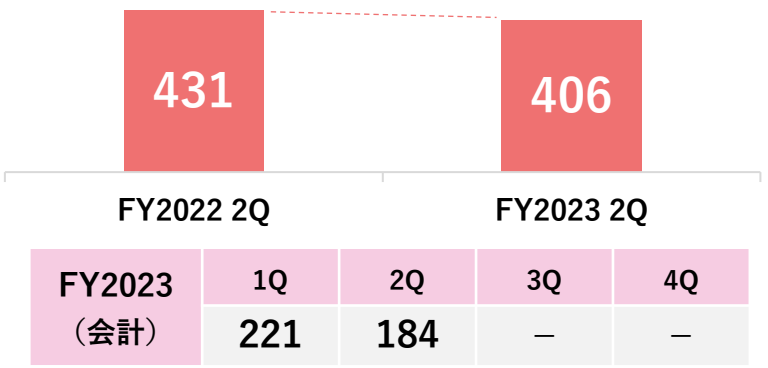
数 量
4億円

ライフサイエンス事業（日本農薬）

◆ 売上高

(単位：億円)

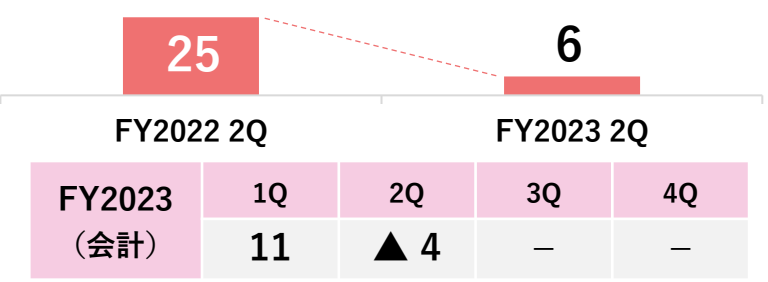
△ 5.8%



◆ 営業利益

(単位：億円)

△ 72.7%



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因 (対前年同期)

- ・ 北米で寒冷な気候が続き、害虫の発生が少なかったことから殺虫剤の販売低調
- ・ 国内の農薬販売は、天候不順や過年度の流通在庫の影響から低調

◆ 農薬

低 調

北米（殺虫剤）

日本（農薬全般）

堅 調

ブラジル（サトウキビ向け 除草剤など）

インド（棉・野菜分野で販売する殺虫剤などの自社開発品目）

◆ 医薬品

低調

爪白癬分野

外用抗真菌剤「ルリコナゾール」

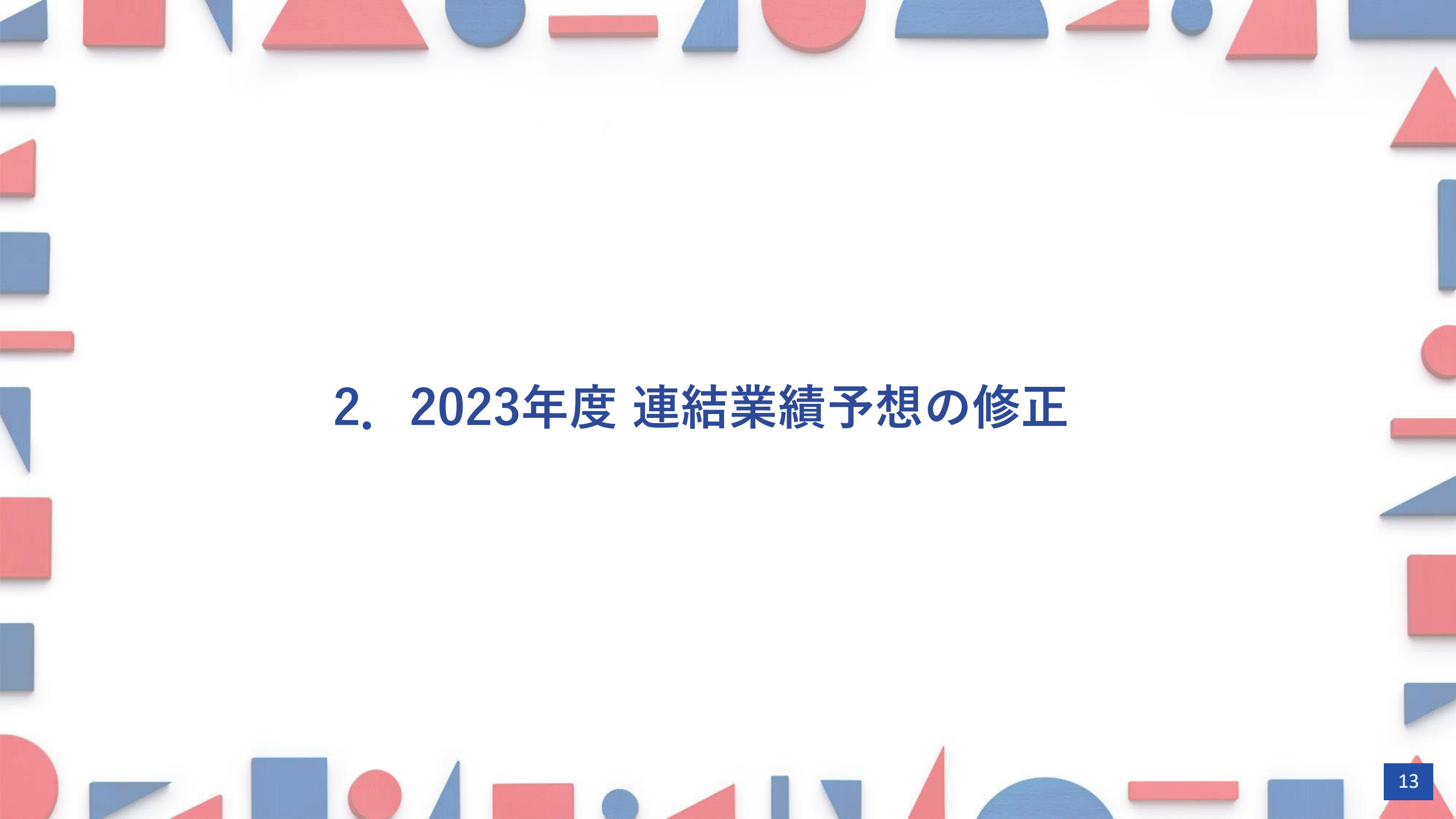
営業利益の主な要因 (対前年同期)

数 量
△ 20億円

固定費他
△ 3億円

為 替
3億円

価格バランス
1億円

A decorative border composed of various red and blue geometric shapes, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the slide.

2. 2023年度 連結業績予想の修正

世界経済

地政学リスクや金融政策による影響が出始める中で、景気回復のペースが鈍化する見通し

2023年度の市場トレンド

セグメント	マーケット	上期	上期⇒下期	関連製品
化学品	自動車	UP 		樹脂添加剤（添加剤、可塑剤、塩ビ用安定剤等）
	建材	DOWN 	FLAT 	機能化学品（潤滑油添加剤、特殊エポキシ樹脂、塗料用添加剤、一般工業用薬剤等）
	半導体			情報・電子化学品（高誘電材料、光酸発生剤、回路形成材料、実装材料等） 機能化学品（低塩素エポキシ樹脂、高純度過酸化水素、過硫酸塩類等）
	ディスプレイ			情報・電子化学品（光硬化樹脂、光重合開始剤、樹脂BM、回路形成材料等） 機能化学品（低塩素エポキシ樹脂、過硫酸塩類等）
	化粧品			機能化学品（化粧品原料、プロピレングリコール類等）
食品	量販店・コンビニ （パン・菓子・デザート）			食品（マーガリン、ショートニング、ホイップクリーム、フィリング等）
	観光・外食産業 （土産菓子・ファストフードほか）			
ライフサイエンス	農業			農薬（水稲用殺虫剤・殺菌剤、園芸用殺虫剤・殺菌剤、除草剤等）

2023年度 連結業績予想の修正

2023年度 連結業績予想

(単位：億円)

	修正予想 (2023/11/10)			2022年度 実績 (b)	増減		(ご参考) 前回予想 ※23年8月公表		
	上期 (実績)	下期	2023年度 (a)		額 (a)-(b)	率 (%)	上期	下期	通期
売上高	1,876	2,223	4,100	4,033	66	1.7	1,910	2,350	4,260
営業利益	147	197	345	323	21	6.6	133	227	360
経常利益	155	189	345	325	19	5.9	137	218	355
当期利益	105	104	210	167	42	25.2	82	128	210
1株利益	103.2円	101.6円	204.8円	163.3円	41.5円	-	80.0円	124.8円	204.8円

		2023年度下期の前提	2022年度実績
為替	円/\$	138.00	135.45
	円/€	149.00	140.99
ナフサ	円/KL	64,000	76,625

		2023年度	2022年度実績
配当	中間	40円	35円
	期末	(予定) 40円	35円
	年間	(予定) 80円	70円

注) 金額は億円未満を切り捨て、1株利益は小数点第2位を四捨五入して表示

セグメント別 連結業績予想の見直し

(単位：億円)	上期実績 (a)	下期予想 (b)	通期予想 (a)+(b)	前年度実績 (c)	増減 (a)+(b)-(c)	増減率 (%)	(ご参考) 前回予想 ※23年8月公表		
							上期予想	下期予想	通期予想
売上高	1,876	2,223	4,100	4,033	66	1.7	1,910	2,350	4,260
化学品	1,015	1,134	2,150	2,117	32	1.5	1,004	1,285	2,289
樹脂添加剤	504	535	1,040	1,113	△ 73	△ 6.6	474	666	1,140
情報・電子化学品	192	217	410	363	46	12.7	193	242	435
機能化学品	318	381	700	640	59	9.3	337	377	714
食品	413	416	830	825	4	0.6	420	447	867
ライフサイエンス	406	633	1,040	1,020	19	1.9	450	590	1,040
その他	40	39	80	70	9	14.0	36	28	64
営業利益	147	197	345	323	21	6.6	133	227	360
化学品	120	131	252	262	△ 10	△ 4.0	108	154	263
樹脂添加剤	40	39	80	92	△ 12	△ 13.2	34	55	90
情報・電子化学品	52	58	111	110	0	0.1	48	66	115
機能化学品	27	33	61	59	1	2.6	25	32	58
食品	13	11	24	▲ 24	48	-	7	11	19
ライフサイエンス	6	54	61	77	△ 16	△ 21.7	14	59	73
その他	7	0	8	7	0	11.1	3	1	5

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

化学品事業（樹脂添加剤）

自動車向け製品の需要が着実に回復するものの、対前年
ワンパック顆粒添加剤や酸化防止剤の販売苦戦で減収・減益となる見通し

自動車

2023年度の自動車生産（見通し）

2019年度比で9割前後
（想定よりも緩やかな回復）

自動車部材
（外装・内装・電線）
の中間在庫

解消に向かう

xEV向け
（電気自動車）

「難燃剤」の
販売拡大

○ 核剤、光安定剤、ゴム用可塑剤
イントメッセント系難燃剤

▶ 原材料高騰に対する
コストダウン

プラスチック全般

景気減速による影響を織り込む

中東・欧州の樹脂生産が低迷
＋市場競争激化



ワンパック顆粒添加剤、酸化防止剤

▶ 新規市場開拓

プラスチックの β 晶形成を促進する新規核剤

新規 β 晶核剤「アデカスタブNA-B99P」

「衝撃に強く」「伸びやすい」

プラスチック(ポリプロピレン)の可能性を広げる新規核剤

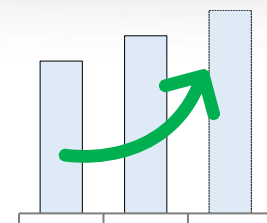
※核剤：プラスチックの結晶を揃え、物性（強度・透明性等）を向上させる添加剤

※ β 晶：プラスチックの結晶形の一つ

ラインナップ拡充

主な物性	既存核剤 (アデカスタブNA-11)	新規 β 晶核剤 (アデカスタブNA-B99P)
剛性	◎	
成形サイクル	◎	○
耐衝撃性		◎
延伸性		◎

※剛性：プラスチックの変形のしにくさ ※成形サイクル：プラスチックの固まる速さ



世界のポリプロピレン市場

CAGR 5.2%(FY2021-FY2029)

自動車部材・建材・家電・食品包装向けが牽引

例えば、**建材**では **プラスチック製の資材が普及拡大**

今後ますます

プラスチック(ポリプロピレン)のさらなる機能性向上

β 晶核剤

少量添加

ポリプロピレン

薄く・軽いパイプ
資材運搬時の燃料削減

&

耐久性が高いパイプ
長期使用

パイプ（配管）



環境負荷低減にも貢献

建材はじめ、自動車部材や食品包装等の幅広い用途へ展開し、グローバルに拡販していく

先端半導体向け製品の需要は引き続き堅調に推移する見通し

半導体

減産

減産の影響が強まる

2023年度中の
“急峻な回復”は
織り込んでいない

△ 絶縁膜などの製品群（コモディティ）

半導体の微細化・技術開発

2024年度

○ 先端DRAM向け 高誘電材料
先端フォトリソ用（ArF・EUV）
光酸発生剤

※ALD（Atomic Layer Deposition）：半導体製造プロセスにおいて、極めて薄い膜を形成する方法。

ADEKA

設備稼働予定



ロジック

ALD*材料



DRAM

高誘電材料

ディスプレイ

生産調整

大型パネル中心に復調



カラーフィルター向け 光重合開始剤

液晶パネル向け エッチング用薬液
ブラックマトリクス
レジストなど

パネル生産の中国シフト



光学フィルム向け 光硬化樹脂など



中国市場での販売加速

化学品事業（機能化学品）

需要拡大が見込める

「自動車」「建築塗料」での拡販に取り組み、増収・増益の見通し

対前年

自動車

建築塗料ほか

工業生産

化粧品

✓ 自動車市場の回復

✓ 米国・中国中心に
アフターマーケット油向け
の販売拡大

アジアの住環境が変化
建築塗料の需要拡大



電子デバイス*や日用品などの
市況低迷が続く

* テレビ・PC・スマホの回復は2024年度を想定

エンジンオイル用潤滑油添加剤
「アデカサクループ」
シリーズ

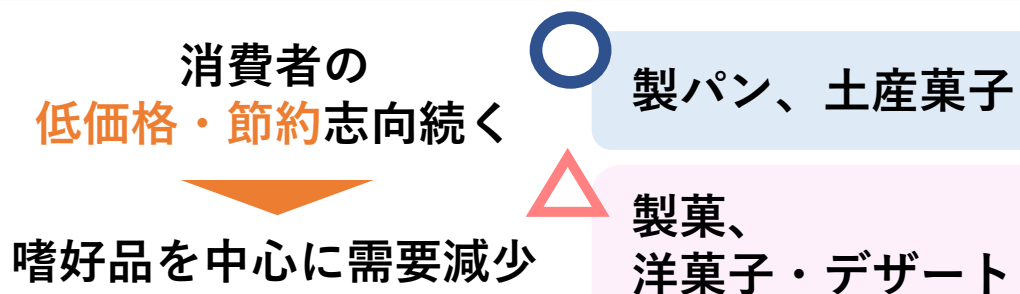
塗料用添加剤（アクリルエマルジョン）
「アデカリアソープ」
シリーズ

△ 過酸化製品
プロピレングリコール類

▶ 利幅管理を徹底

引き続き、収益性の改善と、
「食品ロス削減製品」「プラントベースフード」を軸とした販売拡大に注力

国内の既存市場



食品ロス削減に貢献する業務用マーガリン
「マーベラス」シリーズ

- ✓ パンのボリュームアップに貢献する製品
- ✓ 油脂量減らしてもおいしさが持続する製品

プラントベースフード

「デリプランツ」シリーズ

<ターゲット>

日本

幅広い用途で採用が順調に拡大
認知拡大とメニュー提案強化

アジア

中国、東南アジアで
販売開始

欧米

嗜好性や機能性などの課題に対し、
技術検討

ライフサイエンス事業（日本農薬）

対前年

ブラジルでジェネリック農薬の価格下落圧力が続き、増収・減益の見通し

農薬

米 国

インド

ブラジルほか

売上高

対前年、
増収予想

殺菌剤の早期販売

水稲用殺虫剤ベンズピリモキサン
ー商品名「オーケストラ」ー
混合剤販売開始

為替影響
(円安基調)

売上高増加

営業利益

対前年、
減益予想

ブラジル

ジェネリック農薬の価格下落圧力が継続

3. ご参考

ご参考 | 中期経営計画『ADX 2023』進捗状況

	2021年度 実績 (中計 初年度)	2022年度 実績 (中計 2年目)	2023年度 予想 (中計 最終年度)	2023年度 目標 (中計 最終年度)
営 業 利 益	340億円	323億円	345億円	420億円
R O E	9.9%	6.6%	8.0%	9%
設 備 投 資 額	146億円／年	204億円／年	155億円／年	500億円／3カ年
配 当 性 向	30.5%	42.9%	39.1%	30%以上維持
年間配当予想	70 円／1 株	70 円／1 株	80 円／1 株	達成見込み

注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2021年度実績は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

ご参考 | 設備投資の状況

半導体分野で積極的な投資を実行

情報・電子化学品

韓国

先端半導体メモリ向け高誘電材料

- ① 能力増強 2024年度中に営業運転開始予定
- ② 設備増強 2023年度中に営業運転開始予定

ADEKAコリア R&D センター 拡大移転

2023年度中に移転完了・開設予定

情報・電子化学品

台湾

先端ロジック半導体向け材料 新プラント建設

2024年4月 営業運転開始予定

ライフサイエンス

インド

水稻用殺虫剤の設備増強

(複数の原体製造が可能なマルチパーパスプラント)

2023年度中に営業運転開始予定

日本

情報・電子化学品

千葉工場

先端 フォトリソスト向け光酸発生剤

2023年8月に営業運転開始

機能化学品

三重工場

エポキシ樹脂接着剤の設備増強

2024年度中に完工予定

トピックス | 研究開発体制の再構築

23年11月
投資決定



久喜地区開発研究所

新研究棟を建設

投資金額

約100億円

延床面積

1.1万㎡
地上7階建

開発分野

半導体（ALD, パッケージ）
モビリティ・エレクトロニクス

ADEKA
基幹
研究所へ



盤石な研究開発体制で、イノベーティブな新製品の創出に取り組む

情報・電子

半導体材料の総合メーカーへ育成

ALD



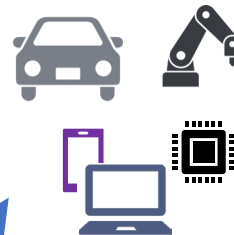
ALD
&
半導体パッケージ

機能化学品

特色ある樹脂を電子材料分野へ展開



技術を
応用展開



R & D

より盤石な研究開発体制を構築

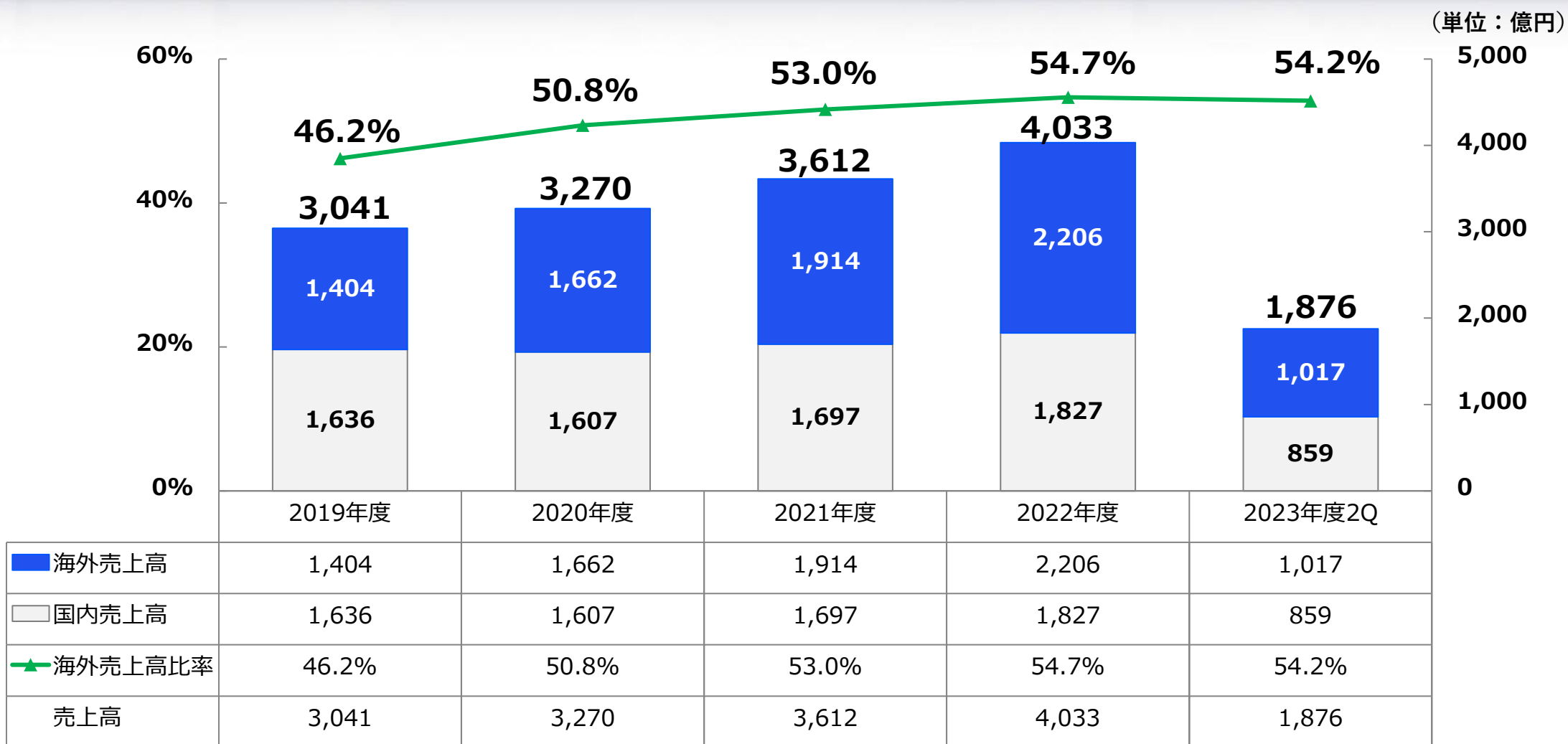
基礎研究
新研究棟

尾久・浦和・久喜

評価・技術開発

ADEKA
グループ
国内外拠点

ご参考 | 海外売上高

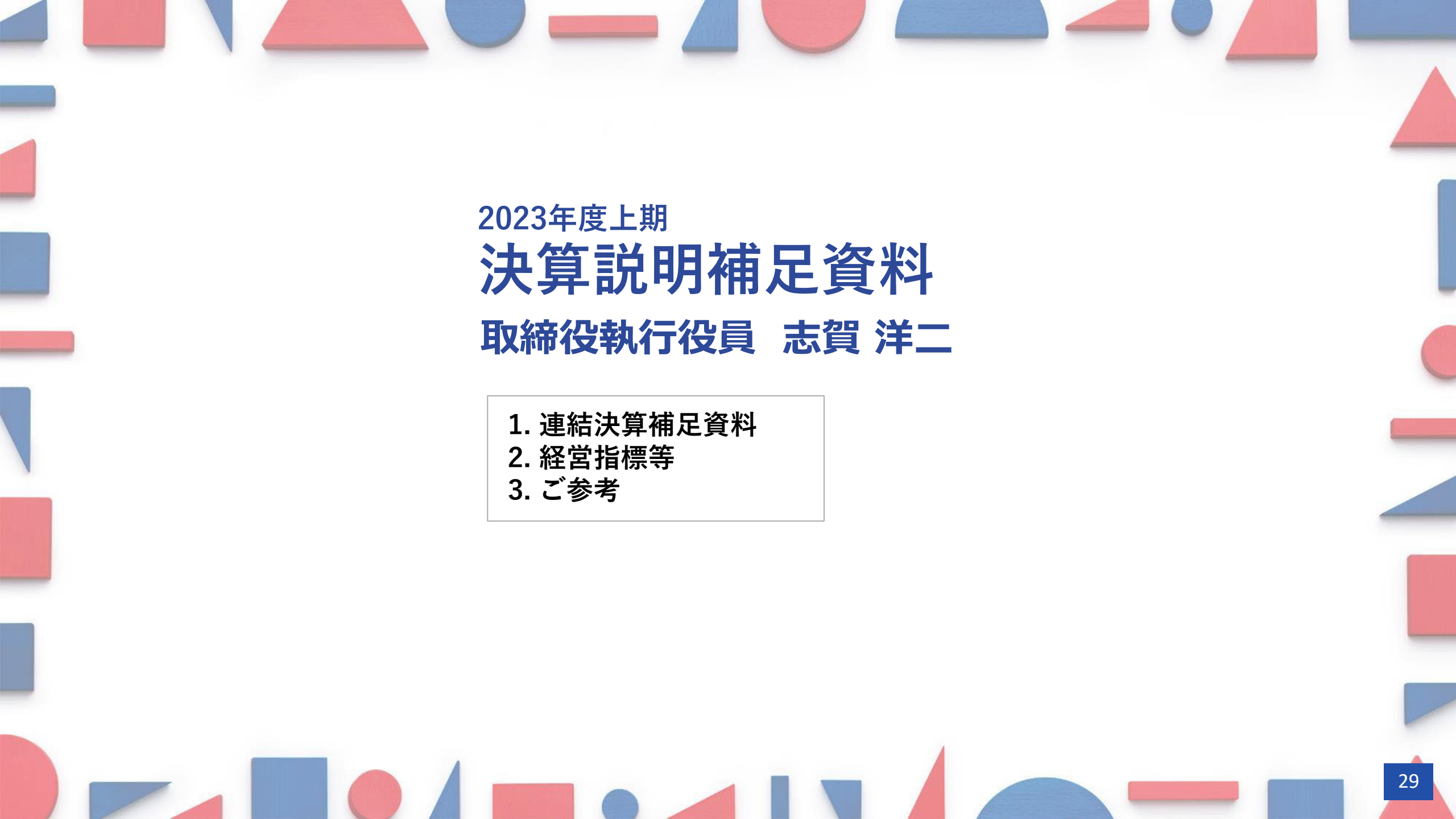


注1) 金額は億円未満を切り捨てて表示

注2) 2022年度は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載



Add Goodness

A decorative border composed of various red and blue geometric shapes, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the slide.

2023年度上期

決算説明補足資料

取締役執行役員 志賀 洋二

1. 連結決算補足資料
2. 経営指標等
3. ご参考

1-1 連結貸借対照表

1. 連結決算補足資料

(単位：億円)	23/3末	23/9末	増減		23/3末	23/9末	増減
流動資産	3,154	3,242	88	負債	1,883	1,917	34
現金及び預金	811	836	25	流動負債	1,294	1,381	86
受取手形及び売掛金等	996	996	△ 0	固定負債	588	536	△ 52
棚卸資産	1,167	1,232	65	純資産	3,117	3,258	141
その他	179	177	△ 2	株主資本	2,387	2,446	59
固定資産	1,846	1,933	86	資本金	230	230	-
有形固定資産	1,194	1,239	44	資本剰余金	201	201	0
無形固定資産	180	177	△ 3	利益剰余金	1,978	2,048	69
投資その他の資産	471	516	45	自己株式	△23	△ 33	△ 10
				その他の包括利益累計額	222	293	71
				非支配株主持分	507	518	10
資産合計	5,000	5,176	175		5,000	5,176	175

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

1-2 キャッシュフロー計算書（要約）

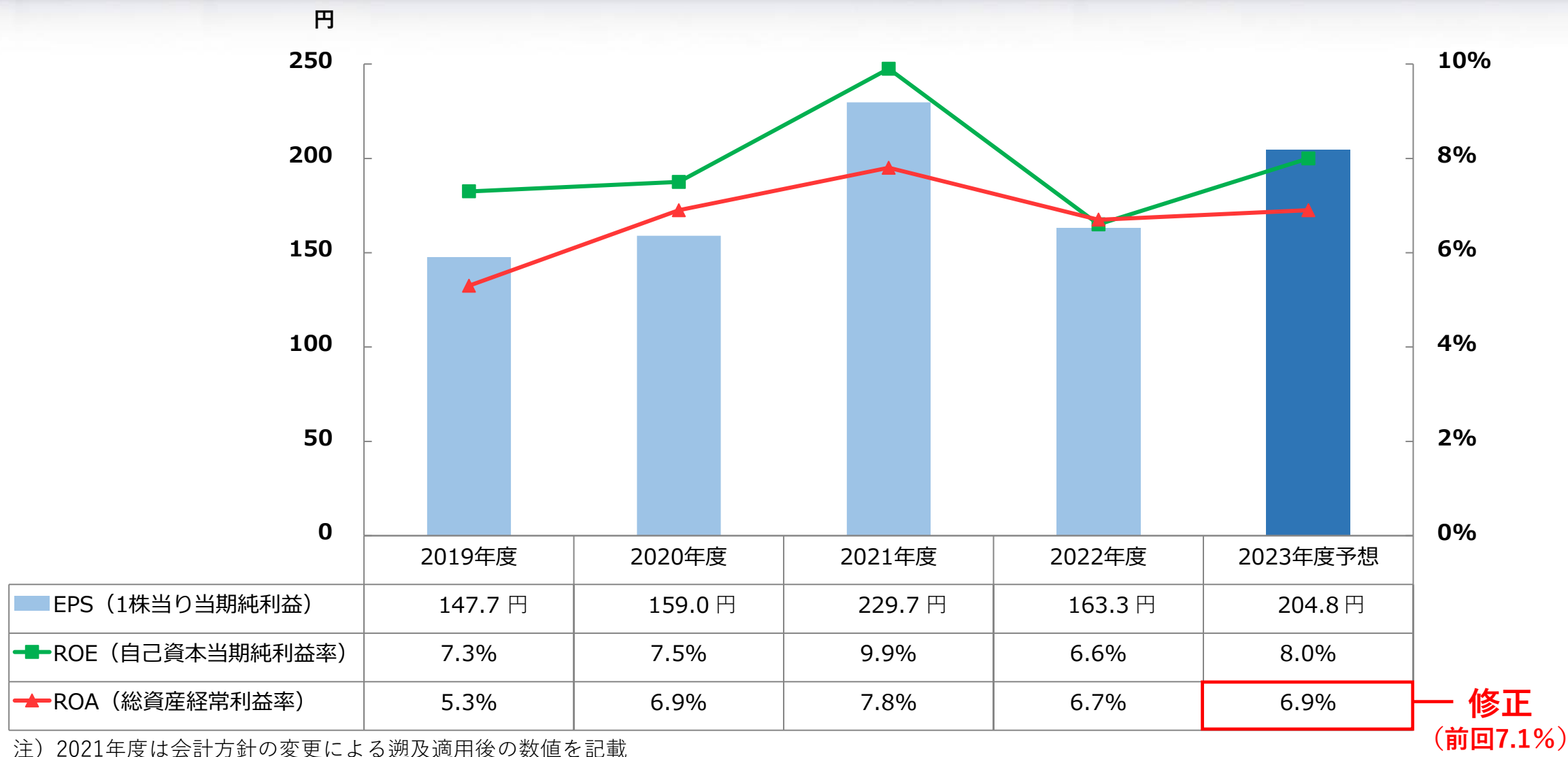
1. 連結決算補足資料

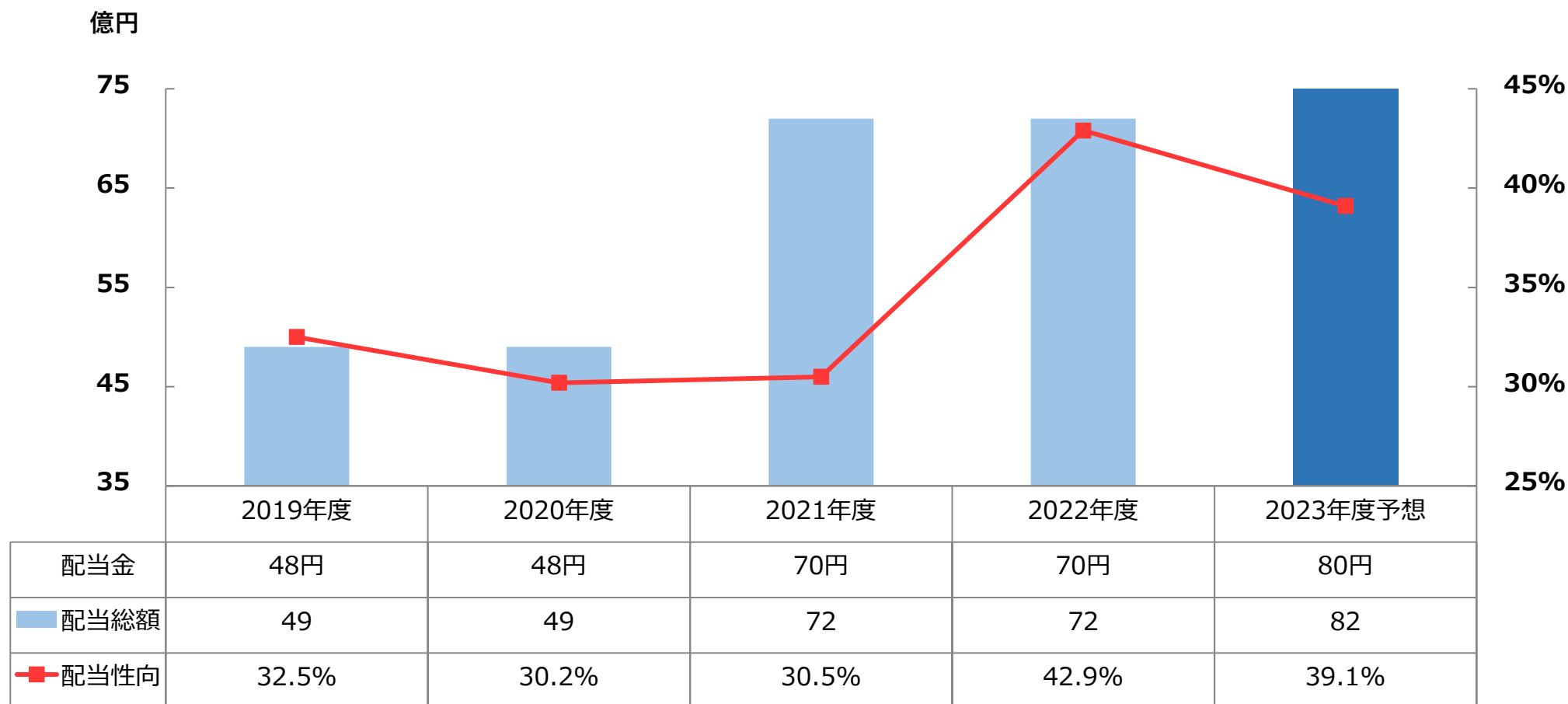
（単位：億円）

	前第2四半期連結累計期間 (2022/4/1-2022/9/30)	当第2四半期連結累計期間 (2023/4/1-2023/9/30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	132	266
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 125	△ 152
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 82	△ 113
現金及び現金同等物に係る換算差額	27	24
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 47	24
現金及び現金同等物の期首残高	827	795
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	0
現金及び現金同等物の四半期末残高	780	820

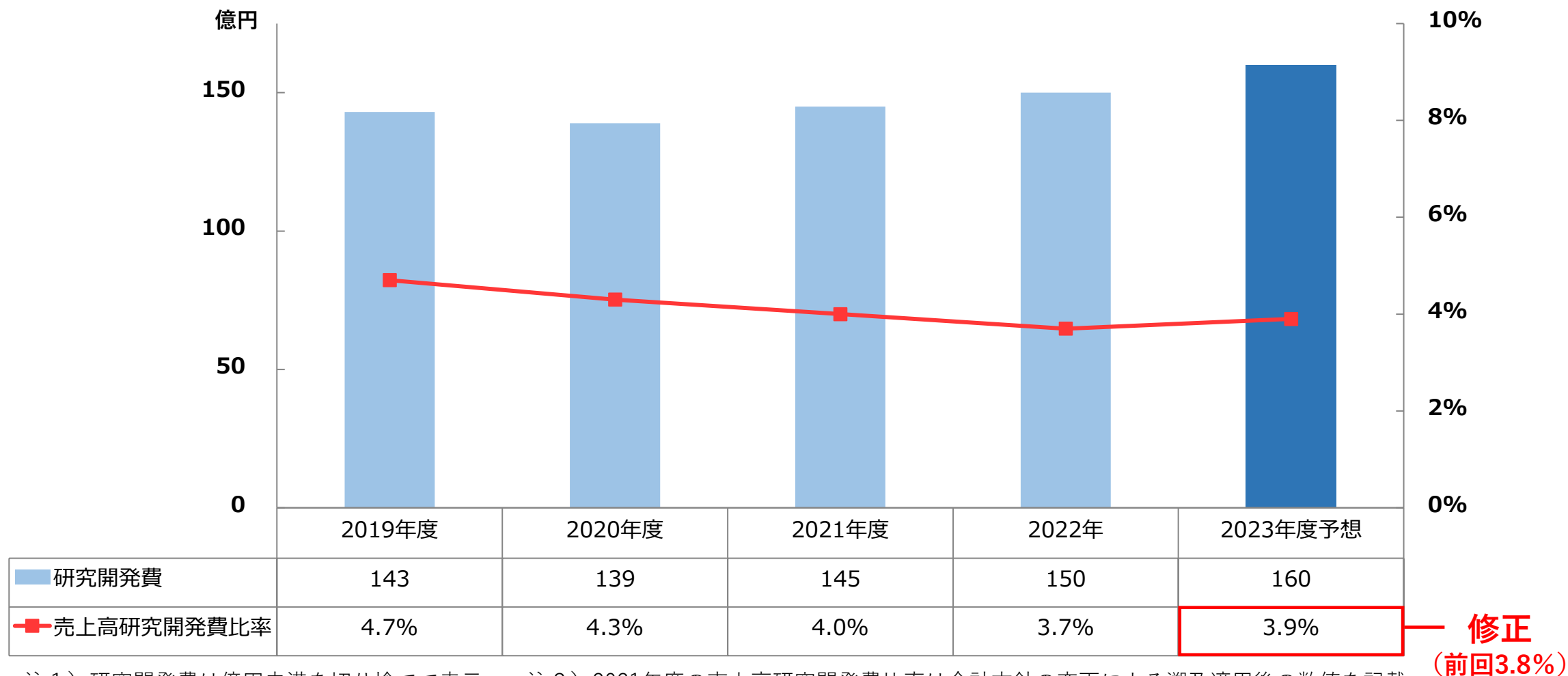
注）金額は億円未満を切り捨てて表示

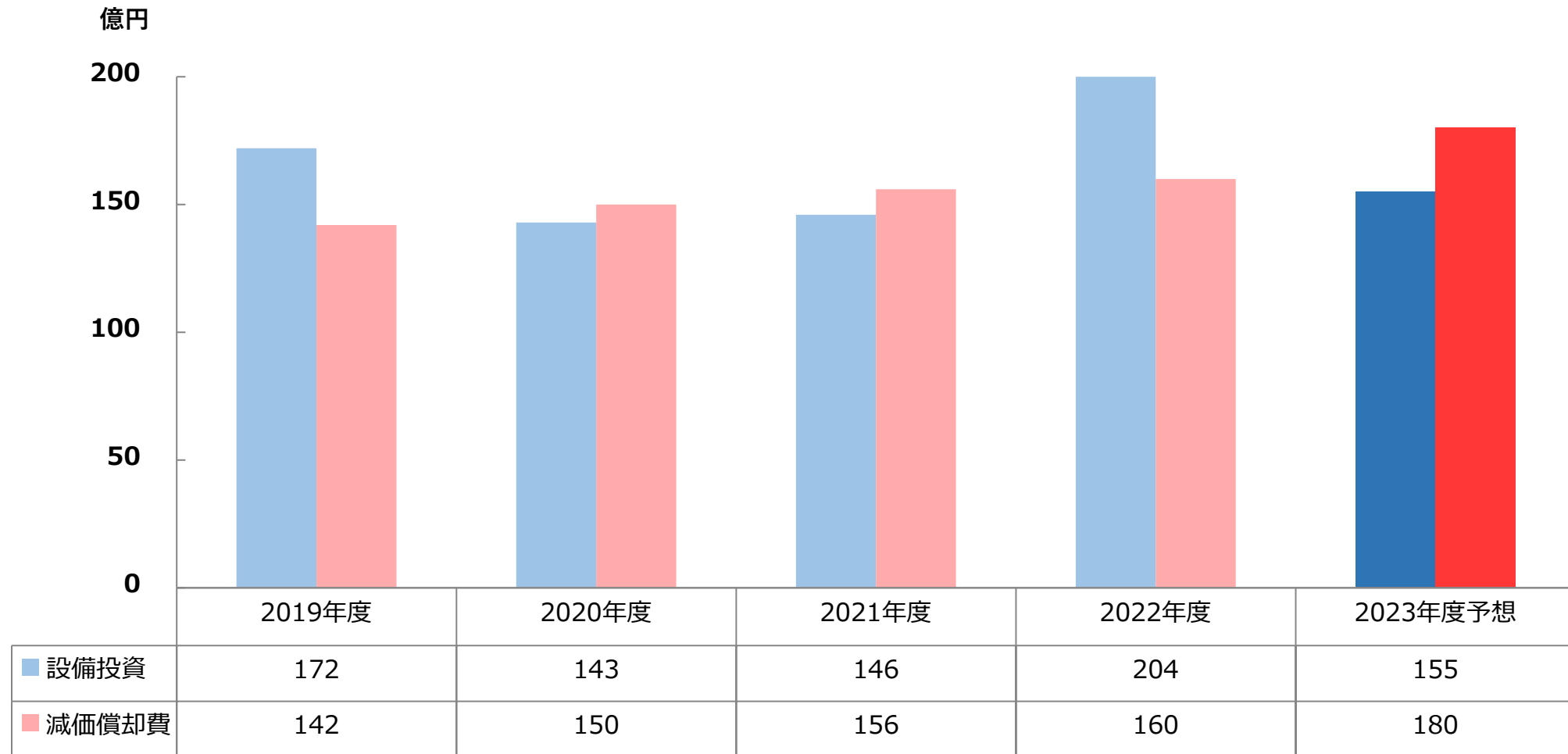
2-1 収益性





注1) 配当総額は億円未満を切り捨てて表示 注2) 2021年度の配当性向は会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

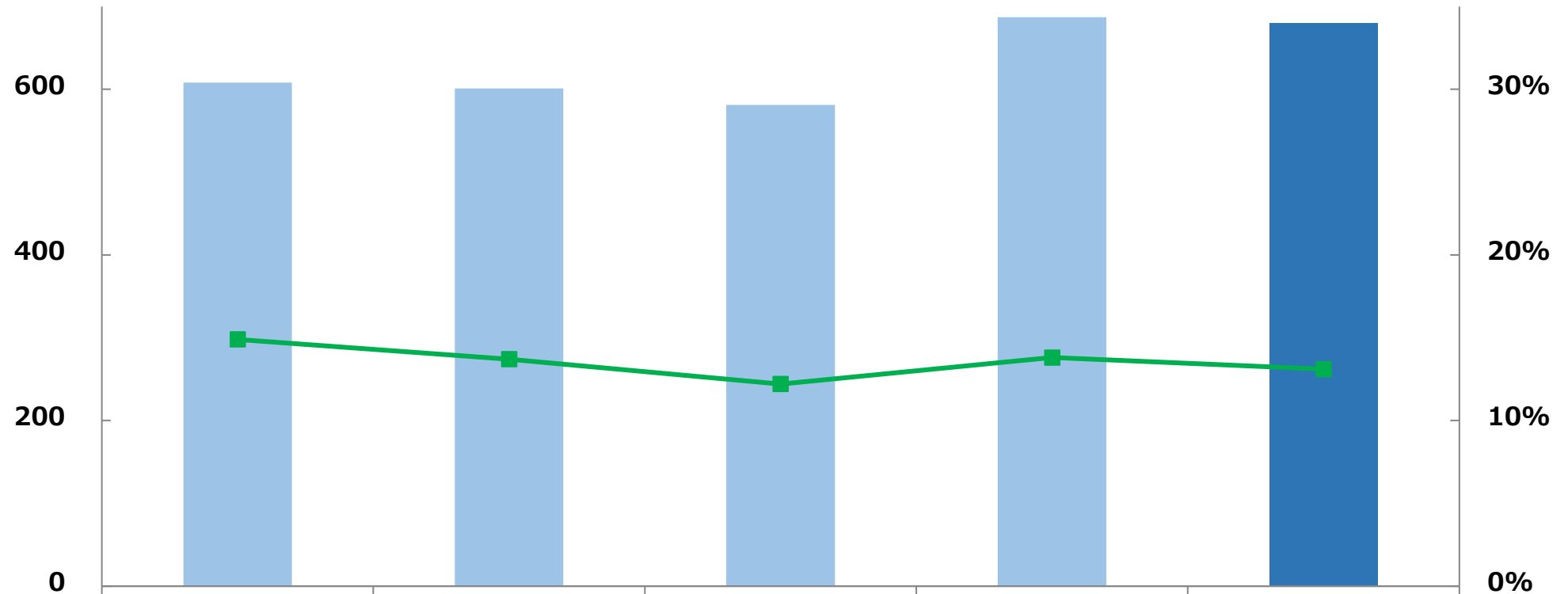




注) 設備投資、減価償却費は億円未満を切り捨てて表示

2-5 有利子負債

億円



有利子負債	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度上期
	608	601	581	687	680
有利子負債依存度	14.9%	13.7%	12.2%	13.8%	13.1%

注) 有利子負債は億円未満を切り捨てて表示

3-1 単独・連結子会社の決算概要 (2022年度上期)

3. ご参考

■ 単独
■ 連結

(単位：億円)

単独決算				
	2022年度 上期	2023年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	758	748	△ 9	△ 1.3
営業利益	49	59	9	19.5
経常利益	127	154	26	20.8
当期純利益	103	130	26	26.0
1株当たり 純利益	100.5	127.5		

国内 (11社)				
	2022年度 上期	2023年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	454	467	12	2.8
営業利益	7	9	2	38.4

海外 (18社)				
	2022年度 上期	2023年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	1,043	878	△ 164	△ 15.8
営業利益	72	70	△ 2	△ 2.9

日本農薬 (10社)				
	2022年度 上期	2023年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	431	406	△ 24	△ 5.9
営業利益	30	11	△ 18	△ 61.2

連結調整 (消去他)		
	2022年度 上期	2023年度 上期
売上高	△ 723	△ 625
営業利益	△ 8	△ 3

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

3-2 連結子会社概要（国内16社①）

3. ご参考

セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
化学品	A D E K A ケミカルサプライ(株)	104百万円	100.00 (間接所有5.57)	化学製品の販売、金属加工油等の開発、製造、販売
化学品	A D E K A クリーンエイド(株)	140百万円	100.00	業務用厨房用洗剤、工業用洗剤等の開発、販売
化学品	オキシラン化学(株)	600百万円	51.00	エポキシ系可塑剤等の製造、販売
食品	A D E K A 食品販売(株)	42百万円	100.00	製菓・製パン用食用加工油脂、その他食品原料等の販売
食品	(株)ヨンゴー	18百万円	92.64	製菓・製パン業務用資材の卸売
食品	A D E K A ファインフーズ(株)	50百万円	100.00	マヨネーズ類、油脂加工食品類、 魚介類を使用した加工製品の製造、販売
食品	上原食品工業(株)	70百万円	100.00	フラワーペースト、餡類及びレトルト、調理食品の製造、 販売
食品	(株)クラウン	10百万円	100.00	油脂類、製粉、香料など食品材料及び加工食品などの卸売

3-2 連結子会社概要（国内16社②）

3. ご参考

セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
ライフサイエンス	日本農薬(株)	14,939百万円	51.00	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料などの製造、販売
ライフサイエンス	(株)ニチノー緑化	160百万円	100.00 (間接所有100.00)	ゴルフ場用・家庭園芸用・緑化用薬剤の販売、芝・芝関連資材の販売、造園・芝生地的设计・施工など
ライフサイエンス	(株)ニチノーサービス	3,400百万円	100.00 (間接所有100.00)	農薬等の受託製造及び製造販売業、農薬等の保管・配送業務の請負、圃場・栽培管理の請負、不動産の管理業務など
ライフサイエンス	日本エコテック(株)	20百万円	100.00 (間接所有100.00)	農薬残留分析、化学物質の安全性試験など
ライフサイエンス	(株)アグリマート	50百万円	100.00 (間接所有100.00)	白蟻防除資材、防疫用殺虫剤等の販売など
その他	A D E K A 物流(株)	50百万円	100.00	当社物流の総元請、倉庫業、車輛等のリース
その他	A D E K A 総合設備(株)	130百万円	100.00	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス
その他	A D E K A ライフクリエイト(株)	65百万円	100.00 (間接所有20.00)	不動産の売買、仲介、管理、損保・生保代理業、OA機器職域販売、ビル・社宅等の管理運営

3-3 連結子会社概要（海外23社①）

3. ご参考

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
米国	化学品	ADEKA USA CORP.	100万USD	100.00	化学製品の販売
米国	化学品	AMFINE CHEMICAL CORP.	1,600万USD	60.00	樹脂添加剤の製造、販売
米国	化学品	AM STABILIZERS CORP.	850万USD	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤の製造、販売
米国	ライフサイエンス	NICHINO AMERICA, INC.	70万USD	100.00 (間接所有100.00)	米国における農薬の販売、普及、開発、登録など
イギリス	ライフサイエンス	NICHINO EUROPE CO.,LTD	3万£	100.00 (間接所有100.00)	欧州における農薬の製造、販売など
ブラジル	ライフサイエンス	SIPCAM NICHINO BRASIL S.A.	22,389万BRL	50.00 (間接所有50.00)	ブラジルにおける農薬の製造、販売など
ドイツ	化学品	ADEKA EUROPE GMBH	50万EUR	100.00	化学製品の販売
フランス	化学品	ADEKA POLYMER ADDITIVES EUROPE SAS	300万EUR	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤の製造、販売
中国	化学品	艾迪科（中国）投資有限公司	3,100万USD	100.00	化学製品の販売
中国	化学品	艾迪科精細化工（上海）有限公司	2,050万USD	100.00	樹脂添加剤、機能性樹脂、電子材料等の製造、販売
中国	化学品	艾迪科精細化工（常熟）有限公司	2,154万USD	50.00	樹脂添加剤の製造、販売
中国	食品	艾迪科食品（常熟）有限公司	2,300万USD	70.00	加工油脂、加工食品の製造、販売
中国	化学品	艾迪科精細化工（浙江）有限公司	3,000万USD	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤など化学製品の製造、販売

3-3 連結子会社概要（海外23社②）

3. ご参考

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
台湾	化学品	長江化学股份有限公司	3,000万NTD	50.50	樹脂添加剤及び可塑剤等の製造、販売
台湾	化学品	台湾艾迪科精密化学股份有限公司	2億NTD	100.00	化学製品の製造、販売
台湾	ライフサイエンス	日佳農薬股份有限公司	4,000万NTD	57.00 (間接所有57.00)	農薬の製造、販売
インド	ライフサイエンス	NICHINO INDIA PVT. LTD.	385万INR	100.00 (間接所有100.00)	インドにおける農薬の販売、製造、輸出入、普及、開発など
韓国	化学品	ADEKA KOREA CORP.	150億WON	100.00	化学製品等の製造、販売
タイ	化学品	ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.	3億5,000万THB	81.00	化学製品の製造、販売
シンガポール	化学品	ADEKA (ASIA) PTE.LTD.	80万USD	100.00	化学製品の販売
シンガポール	食品	ADEKA (SINGAPORE) PTE.LTD.	800 万SGD	90.00	加工油脂、冷凍パイ生地及び関連食品の製造、販売
マレーシア	食品	ADEKA FOODS (ASIA) SDN.BHD.	9,000万MYR	60.00	加工油脂の製造、販売
UAE	化学品	ADEKA AL OTAIBA MIDDLE EAST LLC	4,546万AED	49.00	樹脂添加剤の製造・販売、化学品等の販売

3-4 持分法適用会社概要

国名	持分法適用会社	資本金	出資比率 (%)	事業内容
日本	(株)コープクリーン	80百万円	46.88	石鹼、洗剤等の開発、販売
日本	昭和興産(株)	550百万円	21.65	合成樹脂、化学品、産業資材、情報電材、環境関連製品の販売
日本	タマ化学工業(株)	126百万円	31.07 (間接所有 31.07)	有機合成化学品の製造・販売
イギリス	INTERAGRO (UK) LIMITED およびその関係会社 3 社	33,037 万£	100.00 (間接所有 100.00)	アジュバント（機能性展着剤）と バイオスティミュラントの製造、販売
イタリア	SIPCAM EUROPE S.P.A.	3,694万EUR	20.00 (間接所有 20.00)	欧州における農薬の製造、販売
マレーシア	AGRICULTURAL CHEMICALS (MALAYSIA) SDN. BHD.	205万MYR	24.18 (間接所有 24.18)	マレーシアにおける農薬の製造、販売
ベトナム	NICHINO VIETNAM CO.,LTD	226億8,000万VND	100.00 (間接所有 100.00)	ベトナムにおける農薬の製造、販売

注) 2023年度 第1四半期連結会計期間より、INTERAGRO (UK) LIMITEDおよびその関係会社 3 社を、持分法の適用の範囲に含めています。
なお、資本金の欄にはINTERAGRO (UK) LIMITEDの資本金のみ記載しています。

3-5 事業区分別主力製品

事業区分		主要製品	
報告セグメント	化学品事業	樹脂添加剤	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、その他
		情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂、光開始剤、画像材料、その他
		機能化学品	エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、水膨張性シール材、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、プラントベースフード、ホイップクリーム、練込用クリーム、フィリング類、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他	
	ライフサイエンス事業	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料、その他	
その他		設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他	

業績予想・事業計画に関する注意事項

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。